

奨学金返還支援等の取組に関する調査票

団体コード	
地方公共団体名	
担当者所属	
担当者氏名	
電話番号	
メールアドレス	

※ 担当者氏名、メールアドレスに関しては可能な限り複数記載ください。

奨学金返還支援等の取組に関する調査票

1 奨学金返還支援等の取組状況や検討状況等について該当するものを選択ください。

【実施済み又は実施予定】

①	別添の奨学金返還支援の仕組みによる取組を実施しており、奨学金返還支援基金を設置済である。		⇒	実施年度：	
				基金設置年度：	
				実施年度：	
				基金設置予定年度：	
				実施予定年度：	
				基金設置予定年度：	
				取組開始年度：	
				取組開始予定年度：	
②	別添の奨学金の返還支援の仕組みによる取組を実施しており、今後基金設置予定である。		⇒	実施年度：	
				基金設置予定年度：	
③	別添の奨学金の返還支援の仕組みによる取組を現在は実施していないが、今後実施予定である。		⇒	実施予定年度：	
				基金設置予定年度：	
④	別添の仕組みによらず、独自の取組として奨学金返還支援等を実施している。（医療系人材確保のための仕組みを除く）		⇒	取組開始年度：	
⑤	別添の仕組みによらず、独自の取組として奨学金返還支援等を実施予定である。（医療系人材確保のための仕組みを除く）		⇒	取組開始予定年度：	

※ 本設問について、①～⑤と回答した場合は質問2以降のタブの設問もお答えください。

【未実施】

⑥	奨学金返還支援等の取組を実施していない。	
---	----------------------	--

※ 本設問について、⑥と回答した場合は質問6のタブの設問にもお答えください。

2-1 奨学金返還支援等の具体的な取組内容を記載ください。

i 主な申請要件	ii 返還支援等の要件	iii 返還支援等の上限額	iv 返還支援等の内容	v 事業実施期間
				(開始年度)
				(終了年度)

vi 対象となる奨学金の区分 (以下のいずれかを選択してください。)		vii 返還支援等の要件の区分 (以下のいずれかを選択してください。)			
日本学生支援機構の奨学金を含む	日本学生支援機構の奨学金を含まない(独自の奨学金等)	地域への居住及び就業をいずれも要件としている	地域への居住を要件としている	地域への就業を要件としている	地域への居住や就業を要件としていない

viii 返還支援等を決定するまでの選考方法

例) 書類選考、ヒアリング

- ※1 各地方公共団体の域内にて行われている取組内容をご記入願います。
- ※2 各地方公共団体において独自の奨学金返還支援等を実施されている場合もご回答願います。
- ※3 「i 主な申請要件」の欄には、新卒者、既卒者、出身学部、卒業した高等学校の所在地、大学の所在地などの申請者の学歴に関する要件や、就職先の業種に関する要件を記載ください。
- ※4 「ii 返還支援等の要件」の欄には、申請をした後にどのような条件が満たされれば返還支援等されるのか記載ください。(例 県内への居住期間、特定業種への就業期間等)
- ※5 「iv 返還支援等の内容」欄には、返還支援要件を満たした場合に具体的にどのような支援を行うか、支援の方法や時期、支払いの回数等について具体的にご記入願います。(例: 返還支援等の要件を満たした翌年度に、返還支援の上限の額を、一括で、認定者あてに支給。)
- ※6 「v 事業実施期間」欄には、奨学金返還支援等の対象者の募集を開始した年度を記載いただくとともに、奨学金返還支援等の事業を終了する年度が決まっている場合はその年度を記載ください。終了年度が決まっていない場合は未定と記載ください。
- ※7 取組が複数ある場合は、2-1及び2-2について「取組②」にご記入ください。3件以上取組がある場合は、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局担当者までご相談ください。(行の追加などの改変は行わないでください。)

取組②

奨学金返還支援等に係る取組を複数行っている場合はご記入ください。複数の取組がない場合は空欄で構いません。

i 主な申請要件	ii 返還支援等の要件	iii 返還支援等の上限額	iv 返還支援等の内容	v 事業実施期間
				(開始年度)
				(終了年度)

vi 対象となる奨学金の区分 (以下のいずれかを選択してください。)		vii 返還支援等の要件の区分 (以下のいずれかを選択してください。)			
日本学生支援機構の奨学金を含む	日本学生支援機構の奨学金を含まない(独自の奨学金等)	地域への居住及び就業をいずれも要件としている	地域への居住を要件としている	地域への就業を要件としている	地域への居住や就業を要件としていない

viii 返還支援等を決定するまでの選考方法 (自由記入欄)

例) 書類選考、ヒアリング 等

2-2 奨学金返還支援等の取組の利用状況について記載ください。

<全体>

①年度	②地方公共団体が募集した人数	③応募してきた学生等の人数	④認定者数 (当該年度に認定した人数)	⑤返還支援者数 (当該年度に奨学金の返還支援等を開始した人数)	⑥認定者のうち、返還支援等に至っていない者で学生でない者の数
H27					
H28					
H29					
H30					
計	0	0	0	0	0

※1 ④については、各年度ごとの初めて認定した人数を記載ください。例えば、H27に認定した人は、H28以降には記載しないでください。

※2 ⑤については、各年度ごとに初めて返還支援等を開始した人数を記載ください。例えば、H27に支援等を開始した人は、H28以降には記載しないでください。

<日本学生支援機構の奨学金貸与者>

①年度	②地方公共団体が募集した人数	③応募してきた学生等の人数	④認定者数 (当該年度に認定した人数)	⑤返還支援者数 (当該年度に奨学金の返還支援等を開始した人数)	⑥認定者のうち、返還支援等に至っていない者で学生でない者の数
H27					
H28					
H29					
H30					
計	0	0	0	0	0

※②については、借り受けている奨学金の種類によって特に区分していない場合は、「—」としてください。

取組②

2-1で取組②にも記載された場合はご記入ください。

<全体>

①年度	②地方公共団体が募集した人数	③応募してきた学生等の人数	④認定者数 (当該年度に認定した人数)	⑤返還支援者数 (当該年度に奨学金の返還支援等を開始した人数)	⑥認定者のうち、返還支援等に至っていない者で学生でない者の数
H27					
H28					
H29					
H30					
計	0	0	0	0	0

<日本学生支援機構の奨学金貸与者>

①年度	②地方公共団体が募集した人数	③応募してきた学生等の人数	④認定者数 (当該年度に認定した人数)	⑤返還支援者数 (当該年度に奨学金の返還支援等を開始した人数)	⑥認定者のうち、返還支援等に至っていない者で学生でない者の数
H27					
H28					
H29					
H30					
計	0	0	0	0	0

2-3 奨学金返還支援等の取組の効果検証の実施状況について選択ください。

①	効果検証を実施している。	<input type="checkbox"/>	⇒ 質問3のタブの設問もお答えください。
②	今後、効果検証を実施する予定である。	<input type="checkbox"/>	⇒ 質問4のタブの設問もお答えください。
③	効果検証を実施していない。	<input type="checkbox"/>	⇒ 質問5のタブの設問もお答えください。

3-1 奨学金返還支援等の取組の効果検証の実施方法について記載ください。

--

(例): アンケート調査、ヒアリング、人口動態分析等

3-2 奨学金返還支援等の取組の効果検証結果について選択ください。

①	非常に効果があった。	
②	ある程度効果があった。	
③	どちらともいえない。	
④	あまり効果がなかった。	
⑤	全く効果がなかった。	

3-3 効果検証結果の詳細や、質問3-2の回答理由について記載ください。

--

⇒ 質問7のタブの設問もお答えください。

4-1 奨学金返還支援等の取組の効果検証の予定時期について記載ください。

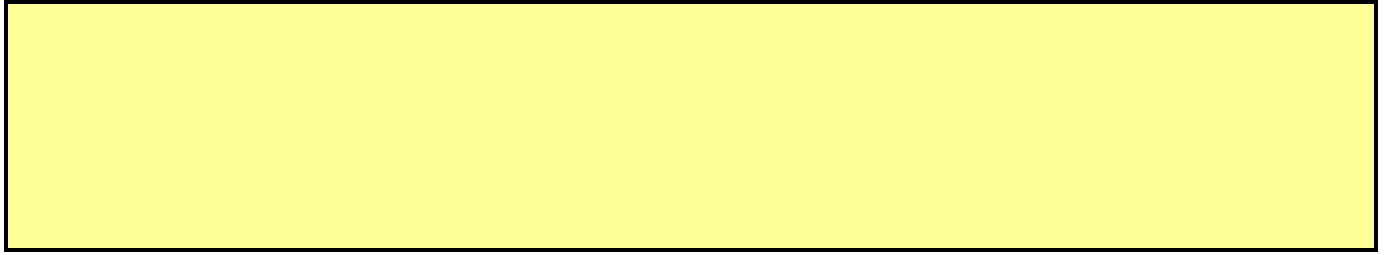
実施予定年度：

4-2 予定している奨学金返還支援等の取組の効果検証の実施方法について記載ください。

(例): アンケート調査、ヒアリング、人口動態分析等

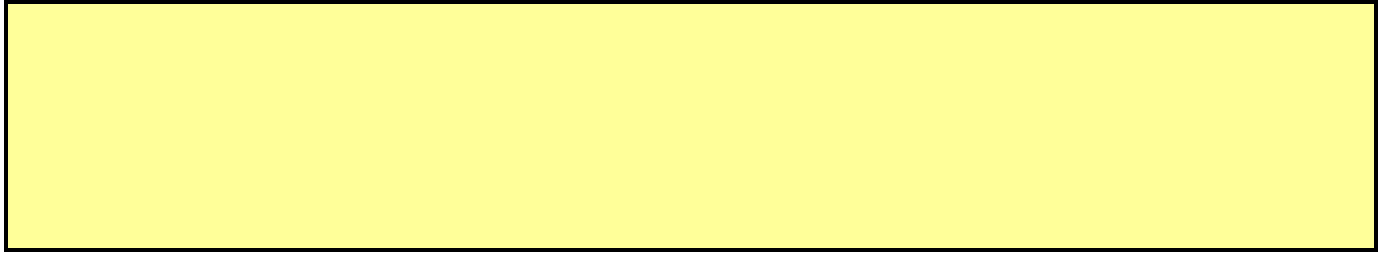
⇒ 質問7のタブの設問もお答えください。

5-1 奨学金返還支援等の取組の効果検証を実施しない理由について記載ください。



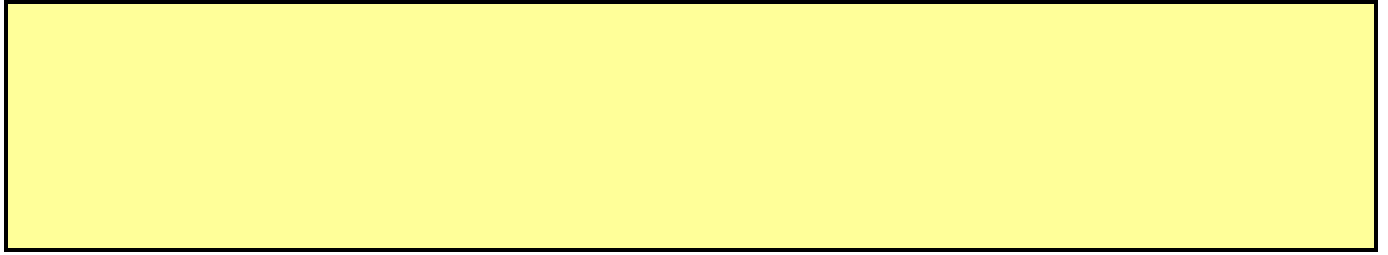
⇒ 質問7のタブの設問もお答えください。

6-1 奨学金返還支援等の取組を実施しない理由について記載ください。



⇒ 質問7のタブの設問もお答えください。

7-1 奨学金返還支援制度等に関し、国に期待することを記載ください。



調査は以上です。御協力ありがとうございました。